

## ● 韓 国

### マクロ経済動向

韓国銀行(中央銀行)が12月4日に公表した2018年第3四半期の成長率(改定値)は、季節調整値で前期比0.6%となり前期の同0.6%から横ばいであった。需要項目別に見ると、内需では最終消費支出は同0.7%で前期の同0.3%から上昇した。固定資本形成は同▲4.6%で前期の同▲2.9%からマイナス幅を拡大した。その内訳では、建設投資は同▲6.7%で前期の同▲2.1%からマイナス幅を拡大した。設備投資は同▲4.4%で前期の同▲5.7%からマイナス幅を縮小している。外需である財・サービスの輸出は同3.9%で前期の同0.4%から上昇している。

2018年第3四半期の鉱工業生産指数の伸び率は季節調整値で0.7%となり、前期の2.7%から低下した。月次では、季節調整値で10月に前月比▲2.7%、11月に同1.0%となっている。

2018年第3四半期の失業率は季節調整値で4.0%であった。月次では10月に3.9%、11月は3.8%となっている。

2018年第3四半期の貿易収支は、359億ドルの黒字、月次では10月に110億ドルの黒字となっている。

2018年第3四半期の対ドル為替レートは、1ドル=1122ウォンで、月次では10月に

同1133ウォン、11月に同1128ウォン、12月に同1123ウォンと推移している。

2018年第3四半期の消費者物価上昇率は、前年同期比1.6%あった。月次では10月に前年同月比2.0%、11月に同2.0%、12月に同1.2%と推移している。2018年第3四半期の生産者物価上昇率は2.9%であった。月次では10月に前年同月比2.2%、11月に同1.6%であった。

### 2019年の経済展望

政府系シンクタンク韓国開発研究院(KDI)は、11月6日に経済見通しを発表した。2019年を2.6%と予測している。また半期別の成長率については、上半期が前年同期比2.5%、下半期が同2.6%としている。

2019年の成長率を需要項目別に見ると、内需は民間消費が2.4%で2018年予測値の2.8%を下回ると見込んでいる。また、固定資本形成は▲1.0%で、2018年予測値の▲1.9%をからマイナス幅は縮小すると見込んでいる。その内訳では設備投資が1.3%、建設投資が▲3.4%となっている。外需である輸出は3.7%で、2018年予測値の4.2%を下回るとしている。

2019年の失業率については3.9%で2018年予測値の3.7%から上昇するとしている。

一方、2019年の消費者物価上昇率は1.6%で、2018年予測値の1.6%から横ばい

と予測している。

### 徴用工問題

前号で報じたように10月30日、韓国の大法院(最高裁判所)は第二次大戦中に強制労働させられていた元徴用工が新日鉄住金を訴えていた訴訟で賠償金の支払いを命ずる判決を下した。その後11月29日には三菱重工業に対する同様の訴訟でも被告に支払いを命ずる判決が出された。今後、日立造船、不二越などの日本企業に対する同様の訴訟の判決が予定されている。また一方で12月20日には元徴用工らが韓国政府に対して賠償を求める訴訟が起こされている。

日韓両国政府はこの問題を巡り12月24日に外務省・外交省の局長級協議を行ったが、韓国側から具体的な対応策は示されなかった。

こうした中で新日鉄住金に対する原告弁護士は12月24日、判決に基づいて韓国内の資産の差し押さえ手続きに入ることを表明した。新日鉄住金に韓国内に差し押さえ対象となる資産があるか否かも含めて、今後の動向は不透明であるが、日本企業の経済的利益が損なわれた場合、日本政府が対抗措置を取ることも示唆されており、日韓関係は深刻な状況を迎えている。

ERINA 調査研究部主任研究員  
中島朋義

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	17年 10-12月	18年 1-3月	4-6月	7-9月	10月	11月	12月
実質国内総生産(%)	3.0	3.3	2.6	2.8	3.1	▲ 0.2	1.0	0.6	0.6	-	-	-
最終消費支出(%)	2.2	2.0	2.4	2.9	2.8	0.9	1.1	0.3	0.7	-	-	-
固定資本形成(%)	4.2	3.1	3.8	5.2	8.6	▲ 1.2	2.0	▲ 2.9	▲ 4.6	-	-	-
鉱工業生産指数(%)	0.7	0.2	▲ 0.6	3.0	2.3	▲ 0.2	▲ 1.2	2.7	0.7	▲ 2.7	1.0	-
失業率(%)	3.1	3.5	3.6	3.7	3.7	3.7	3.6	3.8	4.0	3.9	3.8	-
貿易収支(百万USDドル)	82,781	88,885	122,269	118,895	119,889	28,270	23,912	31,779	35,909	10,997	-	-
輸出(百万USDドル)	618,157	613,021	542,881	511,947	577,381	146,089	149,739	157,543	158,409	57,237	-	-
輸入(百万USDドル)	535,376	524,135	420,612	393,052	457,493	117,819	125,826	125,763	122,500	46,240	-	-
為替レート(ウォン/USDドル)	1,095	1,053	1,132	1,160	1,130	1,105	1,072	1,080	1,122	1,133	1,128	1,123
生産者物価(%)	▲ 1.6	▲ 0.5	▲ 4.0	▲ 1.8	3.5	3.0	1.3	2.2	2.9	2.2	1.6	-
消費者物価(%)	1.3	1.3	0.7	1.0	2.0	1.5	1.3	1.5	1.6	2.0	2.0	1.3
株価指数(1980.1.4:100)	2,011	1,916	1,961	2,026	2,467	2,467	2,446	2,326	2,343	2,030	2,097	2,041

(注) 国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数は前期比伸び率、生産者物価、消費者物価は前年同期比伸び率、株価指数は期末値

国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数、失業率は季節調整値  
国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、生産者物価、消費者物価は2010年基準  
貿易収支、輸出入はIMF方式、輸出入はfob価格

(出所) 韓国銀行、統計庁他